

## 委員会

注3：議決された法案・予算案について付される、施行についての意見や希望などを表明する決議。法的拘束力を有しない。

### 総務委員会

#### 《ラボ！ラボ！コラボ！！リサイクル大作戦》

[審査内容]

- Q 本機の導入により、どのようにシティプロモーションを推進するのか。  
A 大村市の情報が満載されたオリジナル名刺台紙を作成し市民に配布する。また、本機の製造メーカーが大村市を「プレミアムパートナー」とし、本市のPR活動を強力に後押ししてくれる。  
Q 地方創生推進交付金が不採択となったときの対応について尋ねる。  
A 庁内で検討する必要はあるが、一般財源で対応し、事業を進めたい。

### 経済建設委員会

#### 《「花と歴史と技術のまち」イベント開催事業》

[審査内容]

- Q 開催が梅雨の時期であるが、イベントに影響はないのか。また、会場の大村公園は、雨で足場が悪くなることが想定されるが、その対策はどうするのか。  
A 雨に影響を受けず開催できるイベントであるが、雨で客足が若干落ちる可能性がある。また、足場の悪い雨の日は、園路等に仮設シートを敷くなどの対策を講じる。

両委員会では、議案内容を慎重に審査し、採決の結果、賛成多数で原案を可決するとともに、以下の付帯決議を行いました。

### 総務委員会

ラボ！ラボ！コラボ！！リサイクル大作戦については、地方創生推進交付金が不採択となった場合は、事業の執行を停止すること

### 経済建設委員会

「花と歴史と技術のまち」イベント開催事業については、地方創生推進交付金の交付対象事業として採択を受けた上で予算を執行すること

## 本会議

議員からの修正案について7名の議員から、ラボ！ラボ！コラボ！！リサイクル大作戦の予算額3,400万円及び「花と歴史と技術のまち」イベント開催事業の予算額5,993万円を削除する修正案が提出されました。修正理由は、下記のとおりです。

- ▶ラボ！ラボ！コラボ！！リサイクル大作戦については、地方創生推進交付金による補助を予定しているとの説明だが、交付決定は不確実な状況である。また、議会としても、導入予定の製紙機の性能等について十分な検証を行うことができない中、本予算を認めるのは、あまりにも無責任な行為であると言わざるを得ない。
- ▶「花と歴史と技術のまち」イベント開催事業についても、交付決定が不確実な状況である。また、約1ヶ月の開催期間の中で、事業目的に掲げる、市民が楽しめる場（時間）を提供し、青少年を中心に「自然」「技術」「芸術」「歴史」への興味や関心を向上させられる内容であるとは到底考えられず、費用対効果が期待できないものと判断せざるを得ない。
- ▶本市は、市庁舎の建て替えを早急に進めるという方針を決定するなど、これから数年間に多くの予算を必要とする事業が目白押しの中で、極力、切り詰めるところは切り詰める覚悟で予算編成に取り組むべきである。

### 《討論（ラボ！ラボ！コラボ！！リサイクル大作戦について）》

#### 原案に賛成・ 修正案に反対

▶ペーパーラボは、水を使わずに使用済みの紙を新しい紙にするという、世界初の画期的な機械である。機密文書の処理、そして児童生徒への循環型社会の教育に役立てられる。本事業は、市職員の提案がきっかけとなり、立案されたものと聞いている。職員が自由な発想のもと、企画・提案できる市役所内の環境は、地方創生、自治体の自立には必要不可欠だと考える。

#### 原案に反対・ 修正案に賛成

▶本事業には、機械の導入費用のほか、稼働させるため、毎年多額のランニングコストがかかる。本市は、市債発行額、市債残高が増加しており、さらに、今後、市庁舎も建て替えなければならない。ひつ迫する市の財政状況を全然認識していないものと言わざるを得ない。

### 《討論（「花と歴史と技術のまち」イベント開催事業について）》

#### 原案に賛成・ 修正案に反対

▶本イベントは、今まで大村公園の花菖蒲を見に来たことのなかった方にも、花菖蒲の魅力と一緒に感じていただける機会となる。また、大きなイベントであるため、メディアを通じ県内外に発信され、大々的にシティプロモーションが行われることとなり、開催にかかる費用対効果、経済効果に大きな期待が持てる。

#### 原案に反対・ 修正案に賛成

▶イベントの開催期間が梅雨の真っ最中であり、雨が降れば集客は見込めない。また、事業の中心的なターゲットを青少年としているが、開催期間が夜間であるため、青少年の夜遊びを奨励するようなものであり、健全育成上好ましくない。また、大金を投資しても経済効果が見込めず、さらに、今後大型の公共事業が続くことを考慮すると、こういう無駄遣いは絶対やめるべきである。

採決の結果、修正案については賛成少数で否決され、原案については賛成多数で可決されました。

